

科目区分	専門教育科目	科目名	病理学 (実務家教員担当科目)		科目コード	21S430	担当者	七條 和子			
対象学生	生活創造学科 栄養士コース 2年生		学期区分	後期	単位数	1	担当形態	単独			
			授業形態	講義							
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	栄養士必修				
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
疾病における臓器、組織、細胞の形態変化の理解						1. 「 良心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考力・判断力・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	病理学に親しみを持つ。										
2.	病理用語の定義を理解する。										
3.	病理スライドを理解する。										
4.	病因について理解を深める。					○	◎	◎	◎	○	
5.	食生活との関連性を考える。										
授業方法						成績評価の方法と割合					
病理学では疾病における臓器、組織、細胞の形態変化の理解が最も重要な事項となるので、スライドや写真により理解を深める。授業の最後に簡単なまとめを書いてもらいます。						受講態度 (50%) 提出物 (50%)					
課題等への対応						授業外学修時間					
レポート提出を評価します。レポート返却時にコメントを付け返却します。						3時間ぐらいを目安に教科書の予習、復習を行ってください。					
回数	授業計画					学習課題 (予習・復習)					
第1回	①病理学とは②疾病の一般					病理学とはについての復習をする。					
第2回	③細胞障害 (退行性病変、代謝障害)					代謝障害についての復習をする。					
第3回	④循環障害					高血圧症についての復習をする。					
第4回	⑤進行性病変 (病的増殖) と細胞・組織の適応					病的増殖についての復習をする。					
第5回	⑥炎症					炎症についての復習をする。					
第6回	⑦免疫異常、アレルギー					アレルギーについての復習をする。					
第7回	⑧腫瘍 (先天異常)					腫瘍についての復習をする。					
第8回	⑨病因まとめ レポートを課す					病因についての復習をする。					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	「病理学概論」 関根一郎著 医歯薬出版				受講生へのメッセージ	病理学を通して学んだ医学知識が、将来の自己学習の基礎となりうるように頑張ってください。					
参考書等	なし				実務経験に関する情報	①経験内容	元長崎大学医学部講師、薬剤師・医学博士				
						②科目との関連	医学部講師としての経験・知識に基づいて疾病における臓器、組織、細胞の形態変化を教授する。				